



ささやま 市議会だより

新体制で
スタート!!



おもな内容

- ◆市議会新体制 議長あいさつ …… P 2
- ◆ “ 各委員会構成 …… P 3~5
- ◆14年度予算概要・市長市政執行方針、教育方針 …… P 6
- ◆14年度予算の主な審議内容 …… P 7~9
- ◆一般質問（代表・個人） …… P 10~15
- ◆陳情・要望を受けました …… P 15
- ◆議会のうごき・編集後記（まちなみ） …… P 16

第12号

平成14年5月21日発行

議会の機能を高め その責任を果たしたい



議長 畑 雄 司

絵に書いた様な青葉若葉の美しい季節を迎え、整然と植えられた早苗の上を吹く風も、はや初夏の気配を感じる昨今でございます。市民の皆様には極めてご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。合併後まる三年が経過した今、新市建設計画に添って着々と事業が進捗しておりますことは、誠に喜ばしく「元気のある篠山」を実感するところでございます。

今回、2年1期という申し合わせにより議会の構成替えが行われました。新生篠山市議会として、その機能を更に高揚しながら活力ある議会活動を展開して行くべく精一杯の努力をして参りたいと決意も新たにしております。

平成14年度以降については、西紀地区運動公園(仮称)、今田地区農業公園・こんだ薬師温泉(仮称)、継続事業としての障害者総合支援センター、清掃センター、篠山市民センター(仮称)、篠山市中央図書館(仮称)、篠山中学校の建設など一日も早い完成を目指したい。しかしその以降については、財政の健全化を中心に据えた市政運営がなされなければならず、少しづつ硬直化のみられる財政状態をみても、財政計画の見直しと健全化対策は避けて通れないのでございます。

執行部と緊迫した議論を交えながら、共通の目的である「市民の幸せのため」を合言葉に議会としての責任を果たして参りたいと考えております。市民の皆様には一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い、心よりお願い申し上げます。



監査委員 畑 俊 三



副議長 赤松 賢 宥

議 会 の 構 成

常 任 委 員 会

委員会名	総務常任委員会	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	市野 忠 志	松 本 孜	植 野 良 治
副委員長	山 本 博 一	谷 貴美子	藤 本 忠 男
委員	澤 光 吉	田 中 孝 治	小 林 正 典
委員	酒 井 朝 洋	清 水 哲	田 中 悦 造
委員	森 本 長 寿	上 月 格 男	森 口 昌 英
委員	加久田 保	渡 辺 省 悟	畑 俊 三
委員	九 鬼 正 和	河 南 克 典	波多野 元 治
委員	赤 松 賢 宥	降 矢 太 刀 雄	足 立 義 則

議 会 運 営 委 員 会

委員長	九 鬼 正 和
副委員長	小 林 正 典
委員	松 本 孜
委員	植 野 良 治
委員	藤 本 忠 男
委員	酒 井 朝 洋
委員	市 野 忠 志
委員	上 月 格 男
委員	渡 辺 省 悟

議 会 広 報 編 集 特 別 委 員 会

委員長	足 立 義 則
副委員長	澤 光 吉
委員	酒 井 朝 洋
委員	清 水 哲
委員	河 南 克 典
委員	波多野 元 治

構成メンバー



山本博一 副委員長



加久田保 委員



澤 光吉 委員



九鬼正和 委員



酒井朝洋 委員



赤松賢宥 委員



森本長寿 委員



委員長

市野 忠志

総務常任委員会

この度、議会の構成で当委員会は、本来の総務常任委員会に戻りました。主な仕事は下段のとおりですが、総合計画、財政計画をしっかりと見据えて調査してまいります。

4年目を迎えた篠山市は当初予算の骨格を人件費削減と補助金の減額など、歳入不足を補います。積極型から緊縮型予算への移行は、合併特例債による大型投資事業が次々と完成し、ピークを迎えていくからに他ありません。投資的事業の後年度の負担は重くのしかかり、極めて厳しい財政状況が危惧されます。

全国から注目を浴びる篠山市ですが、もてはやされるだけでなく今後の確固たる運営方針を確立する必要があります。「住んで良かった、住みたい篠山の創造」を構築する事業を展開せねばなりません。よろしくご指導の程お願い申し上げます。

主な仕事

支所関係

- ① 支所業務に関する事
- ② 地域課題に関する事

行政監理部関係

- ① 行政改革に関する事
- ② 工事の入札・契約・検査に関する事

政策部関係

- ① 市行政施策の企画及び総合調整に関する事
- ② 開発指導・土地利用・国県及び他市町村との連絡調整に関する事
- ③ 大規模プロジェクト事業計画の推進に関する事

総務部関係

- ① 自治会に関する事
- ② 予算その他財務・公有財産の管理・財産区に関する事
- ③ 市税に関する事
- ④ 情報公開に関する事

選挙管理委員会

各種選挙の管理執行、選挙人名簿、検査審査委員会など

監査委員関係

一般監査及び特別監査、出納検査、決算審査など

公平委員会関係

職員の給与その他勤務条件に関する措置要求の審査判定など



こんだ薬師温泉（仮称）完成予想図

構成メンバー



谷貴美子 副委員長



渡辺省悟 委員



田中孝治 委員



河南克典 委員



清水 哲 委員



降矢太刀雄 委員



上月格男 委員



委員長
松本 孜

文教厚生常任委員会

今回の条例改正により「教育委員会の所管に関する事項」が加わり、文教厚生委員会としてスタートすることになりました。

少子高齢化が進みます進んでいく中で、社会は多様化し幸せを求める議論は千差万別であります。合併という大きな行政改革を選択した本市の街づくりは、これからであります。住民が求める本場に「住んでよかった」といわれるまちづくりを確立する為には、福祉と教育は必修のことであり、環境を守り市民に安心と安全を保障することは行政の責任であります。

そうした市民生活に直結する所管の当委員会に於ける責任は極めて重大であると認識し、的確な対応をしなければならぬことを痛感しております。宜しくご指導ご鞭撻の程お願い致します。

主な仕事

生活部関係

- ① 戸籍、住民基本台帳、外国人登録及び印鑑に関する事
- ② 市民の相談及び苦情処理等に関する事
- ③ 環境衛生及び市営墓地に関する事
- ④ 交通安全に関する事
- ⑤ 消防団に関する事
- ⑥ 人権及び同和対策に関する事
- ⑦ 特別措置に関する事
- ⑧ 清掃センター、あさぎり苑に関する事
- ⑨ 斎場に関する事

保健福祉部関係

- ① 市民福祉に関する事
- ② 健康に関する事
- ③ 国民健康保険に関する事
- ④ 国民年金に関する事
- ⑤ 診療所に関する事
- ⑥ 介護保険に関する事

消防本部関係

- ① 予防、危険物に関する事
- ② 救急・救助業務に関する事

教育委員会関係

- ① 学校その他の教育機関の用に供する財産の管理に関する事
- ② 青少年教育、公民館の事業、その他社会教育に関する事
- ③ 教育全般に関する事
- ④ たんば田園交響ホール、四季の森会館に関する事



篠山市中央図書館（仮称）完成予想図

構成メンバー



藤本忠男 副委員長



畑 俊三 委員



小林正典 委員



波多野元治 委員



田中悦造 委員



足立義則 委員



森口昌英 委員



委員長

植野

良治

産業建設常任委員会

このたび、市議会の構成替えにより、産業建設常任委員長を務めさせていただくことになりました。微力ですが、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新市発足4年目を迎え、大型事業が多く実施されておりますが、各事業の投資効果をきびしくチェックし、市民の目線で執行者と議論をしてゆきたく考えております。又、2010年までの総合計画の目玉になっている、6万人都市をめざす将来ビジョンにそった事業執行にむけて、委員一丸となって活動を行います。皆様の暖かいご指導をお願い申し上げ、ご挨拶とします。

主な仕事

産業経済部関係

- ① 農林水産に関すること
- ② 農業共済に関すること
- ③ 土地改良事業に関すること
- ④ 商工及び観光に関すること

建設部関係

- ① 道路、河川その他土木に関すること
- ② 公営住宅に関すること
- ③ 都市計画及び地域整備に関すること
- ④ 下水道に関すること

企業部関係

- ① 水道事業に関すること
- ② 簡易水道事業に関すること
- ③ 市営ガス事業に関すること

農業委員会関係

農地法、農地のあつせん、国有農地、農地転用事業の証明など
農業委員会の運営、農家台帳、制度資金、農業者年金など



街なみ環境整備事業

平成十四年度

当初予算が成立

総額

561億8306万7千円

3月定例会は3月6日から27日までを会期として開き、平成14年度、当初予算（一般会計他14会計）が提案され、総務文教、民生福祉、産業建設の各常任委員会に付託しました。また、市長の市政執行方針、教育長の教育方針表明も行われました。

市長の市政執行方針

3月定例会の中で、市長は「全国に誇れる元気なまちづくりを市政の基調に据え、篠山市建設の基盤づくりに、積極果敢に取り組む」と決意を述べるとともに、新年度においては

- ①生きる力を育む心豊かな人づくり
- ②誰もが健やかに暮らせる安らぎに満ちた社会づくり
- ③豊かさを実感できる快適な生活環境づくり
- ④新しい魅力と活力あふれる産業社会づくり
- ⑤将来を見据えた健全な行財政基盤づくり

などを柱として、市政の推進に全力を傾注することを表明しました。

これを受けて、3月25日には、代表質問、また個人質問を行い、市政課題など市長や関係当局に質問しました。

この後、予算、条例などの議案は、各常任委員会での審査を経て、3月27日本会議で原案のとおり可決しました。

重点施策の概要

- ①篠山市障害者総合支援センター・スマイル ささやまの建設整備
- ②篠山市中央図書館(仮称)の建設整備
- ③篠山市民センター(仮称)の建設整備
- ④篠山市西紀地区運動公園(仮称)の建設整備
- ⑤篠山市今田地区農業公園・こんだ薬師温泉施設(仮称)の建設整備
- ⑥篠山中学校の移転改築

平成14年度 当初予算

(単位：千円、%)

区 分	平成14年度	平成13年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	30,482,000	31,775,000	△ 1,293,000	△ 4.1
特別会計〔12会計〕	20,293,793	21,646,307	△ 1,352,514	△ 6.2
公営企業会計〔2会計〕	5,407,274	8,517,776	△ 3,110,502	△ 36.5
合 計	56,183,067	61,939,083	△ 5,756,016	△ 9.3



建設中の篠山市民センター（仮称）

平成14年度の一般会計の予算規模は、前年度に比べ、4・1%減の30億8、200万円で、12特別会計は6・2%減の202億9、379万3千円、2公営企業会計は36・5%減の54億727万4千円となっております。以上を合わせた平成14年度篠山市当初予算案の総額は、前年度に比べ9・3%減の561億8、306万7千円となっております。

平成14年度 一般会計304億8200万円

総務文教常任委員会

渡 辺 省 悟 委員長

※市長総括質問

篠山中学校建設の事業圧縮について回答を求めた。

《答弁》

篠山中学校建設の事業圧縮については議会と協議を図ってきたところであり、昨年12月には1㎡当たり校舎25万円、体育館28万円、柔剣道場27万円を総額33億円を計上すべく準備をしていた。しかし、厳しい財政状況のなかで、議員の皆様の見聞きをいろいろと議論を重ね精査して、本年の予算計上では建物29億円で校舎23万7千円、体育館25万6千円、柔剣道場24万6千円として事業圧

縮を図りながら、6社によるコンペを実施し審査を行う段階である。

これまでに建設した大山小学校は校舎246、946円、体育館257、000円、岡野小学校校舎増築256、600円、氷上中学校校舎254、400円が完成単価であり、篠山中学校が予定している価格より高くなっている状況である。篠山中学校が仮にこの単価で入札すると金額は下がってくると思われるので、財政状況を見ない、あるいは無謀であるという事業計画・予算計上ではないのでご理解をいただきたい。

なお、コンペは具体的になっており基本設計・

実施設計はコンペと予算に基づき執行していくものである。また、通学区の問題は複雑な絡みがあるが、すでに教育構想に示しており、議会の意見を聞くうえで最終の仕上げの段階であり、その方向に基づく通学路の整備を図りながら建築を進めたい。

多額の予算を計上しているが、今後更なる事業精査をして平成16年4月1日開校に向けて努力したい。



篠山中学校完成予想図

保育園保育料の減額 斎場・清掃センター・ スマイルささやまオープン

民生福祉常任委員会 松本 孜 委員長

平成14年度篠山市一般会計予算並びに特別会計予算5件、及び付託案件1件それぞれ審査し、原案の通り可決したので、その概要を報告する。

が全国関係機関で利用。

その他相談業務

・ 消防防災、人権、環境衛生、あさぎり苑等を審査。

ても全市統一に向けて是正。

他、老人会、シルバー人材センター、町ぐるみ検診等審査。

「生活部」の 主な指摘事項

清掃センター

・ リサイクルプラザ完成、焼却炉も12月には完成。

斎場関係

・ 現場業務は全面委託
35年間使用した市営火葬場は解体。公園化の予定。2117万円計上。

戸籍

・ 住基ネットワークは14年8月から実施。
・ 住民の4情報（氏名・住所・性別・生年月日）

「保健福祉部」の 主な指摘事項

障害者総合支援センター

・ 知的障害者、精神障害者を対象とした施設が開業。身体障害者のデイサービスを主とする施設は、来年4月完成予定。
4億879万円計上。

児童福祉

・ 保育園の保育料軽減。所得階層を細分化し、保育料負担金1、200万余円を減額。
保育園通園バスについ

特別会計

老人保健

・ 53億7、264万円。受給者8、775人。年々増えている。一人当たりの給付費60万3、285円で微増。

介護保険

・ 23億2、254万円。介護認定者は年々増加している。
介護報酬の改定、保険料の見直し等、改訂の年になっている。

国民健康保険

35億9、466万円で前年対比108%。診療所が今田、草山、東雲、後川と四ヶ所ある。それぞれ赤字で、1、600万円から2、600万円の繰入となる。他に住宅資金等を審査。

※市長総括質問

清掃センター焼却業務の委託料について

全面委託で、31人分、年間2億2、630万円必要ということだが、直営にして経費の節減が出来るか。

市営住宅について

生活保護世帯の入居待ちの人に対して低価格の市営住宅を福祉の面から対応できないか。

インフルエンザの予防接種について

4、100人分1、681万円を増額することで国保会計を好転させることになると思うが。

未収金や滞納について

専門の徴収班を設けて効果的な回収を計る考えは。他に付託案件 1件

清掃センター運営協議会設置について

氷上郡が合併しようとしている時「山南町以外のゴミは受け入れない」とする確認書の約束は守れるか。又25年間の使用期限がある用地の対応は。
答 25年後には、篠山と氷上で百トン規模の新たな処理場を考えなければならぬ。



完成した篠山市営斎場

産業経済部・建設部・企業部を審査

産業建設常任委員会 森 口 昌 英 委員長

平成14年度予算3会計、561億8、306万7千円のうち、産業建設常任委員会に付託された産業経済部、建設部、企業部の3会計207億9339万4千円（37・01％）に関わる予算を審査し、原案の通り可決した。

予 算 額

〔産業経済部〕
23億6、084万6千円
農林振興課
17億9、108万3千円
商工観光課
2億6、734万7千円
農業委員会
7、059万7千円
観光施設事業特別会計
1、540万円
農業共済事業特別会計
2億1、641万9千円

〔建設部〕
130億2、527万4千円
建設課
28億4、783万9千円
都市計画課
9億5、395万1千円
環境整備課
8億78万6千円
宅地造成事業特別会計
1億2、667万8千円
下水道事業特別会計
38億500万円
特定環境保全公共下水道特別会計
25億9、100万円
土地取得特別会計
642万円
農業集落排水事業特別会計
18億9、360万円

〔企業部〕
54億727万4千円
ガス事業会計
6億1、507万8千円
水道事業会計
47億9、219万6千円

※市長総括質問

〔産業経済部〕

・篠山市の基幹産業を農業として21世紀は農の時代とされるならば、振興のための補助金のあり方として、バラまきの助成の仕方よりも絞り込んだ助成の方が効果が上がると思うが如何か。

・4商工会が今年度より一部共同事務所を設置される。商工会合併に向け行政として支援していくことは当然と思うが、今この時期に来てどう関わって行こうとされるのか。

〔建設部〕

・道路の整備は快適な生活の中で、豊かさを実感できる環境づくりの

第一条件である。大きな道路改修も大切であるが、市道（生活道路）の目の届かない所を調査し、積極的に改修するのにもぬくもりのある政策と思えるが、どうか。

〔企業部〕

・篠山市の玄関口としての篠山口駅周辺の駐車場、八景館等具体的な整備計画はどうされるのか。

・昨年（13年度）天然ガス転換事業が完了した。今迄のガス事業のあり方をガス経営審議会が設置され、諮問されている。市は民営化も考えていると聞くが、その可能性はどうか。又、行政改革、合理化も含めた対策方法は如何されようとするのか。水資源対策が着々と進められ県水導入、みくまりダム、西紀ダム等順調な事業展開がなされている。事業費も莫大なものである。事業費は当然水道料金に跳ね返る。今後の事業展開と住民負担について



大山荘の里 市民農園

どうされるのか。早急に将来の経営健全化計画を立てて市民の皆さんに知らせるべきと思うが如何なものか。

※市長総括質問とは？

質疑の方法には、①総括（一括）質疑、②一問一答の形式——がある。議会の会議に付する案件（事件）を一括して議題とし、疑義を質す場合、議題とされた全事件に対する疑義を同一議員が全部述べ、その後提出者から答弁を求める質疑の方法である。

一問一答制は、一問し、答弁がなされ、なお納得できないで再質疑し、続いて第二問、第三問と順次同じように質疑していく。

表質問

青藍会、共生クラブが登壇、市政全般にわたって、

地域農業の

活性化方策について

【新政会代表】

山本博一 議員

質問 ① 地域農産物の

産地形成について。

② 黒大豆の一次加工施設はできないか。

③ 兵庫県立農業施設は誘致できないか。

④ 篠山市内に道の駅の建設または、既存施設の併設はできないか。

21世紀は農の時代といわれ、明日の農業を信じ意欲的な夢が実現できる環境づくりが必要です。篠山市内には気候風土に恵まれ、適地適作物の作付がされています。又大都市近郊という立地条件で、農業は存続しています。しかしながら高齢化や担い手不足、後継者不足

という社会環境の中で地域農業が後退するのではないかと危惧されています。幸い篠山市には伝統と文化に恵まれ多くの先人によって築かれた「山の芋」や「黒大豆」があります。しかしながら米あまりによる生産調整によって転作面積が拡大し、近隣地域や他の産地では大々的に栽培が奨励され、全国的にみても面積は需要以上に栽培されています。篠山は農商工業一体となつて発展したまちです。輸入農産物とは価格面で勝負できない以上、品質・鮮度・安全性で信頼を得ることに力を入れます。

べきと思うが、いかがなものか。以上上記の件について問う。

★ 答弁 ① 市の特産物

「黒大豆、枝豆、山の芋、小豆」は、篠山市が誇れるものでありますが、最近では他県でも栽培されているが、歴史とブランド化の点で他の産地を大きくリードし、真似ができないものを持っています。今後は堆肥による土づくり、減農薬、農薬の残留検査等々、市独自の栽培基準を設定し、丹波篠山安心ブランドの認証シールを貼り、篠山の農産物は安心であることを前面にPRをし、消費者から求められる特産づくりを積極的に進めて参ります。

② 10月には丹波ささやま農協が誕生致しますところから、新しい商品開発と共にインターネット等を活用した販路の拡大、PRにも今までの期待をするものであります。

が、加工施設の新設につきましては農協と十分な連携をとりつつ調査、研究を進めてまいります。

③ 山の芋、黒大豆は全国に誇る特産物であるところから、主産地における調査研究施設の設置が望まれていますから、既存の技術試験場とタイアップした現地試験地等、特産振興の拠点となる施設の設置について、県に強く要望、要請してまいります。

④ 道の駅の建設場所については、現在波々伯部地区において、国道バイパス完成後の地域開発を目的に自主研究がなされている。黒豆の館、ハーブピア等既存施設との有機的な活用や市有地の有効利用も考慮し、地域の熟度、取り組み体制の確立、地利的要件も視野に入れ、県の指導を受けながら候補地を絞り、決定を致します。

ぜひ、傍聴に



久留米市行政視察



道の駅 針テラス (西名阪自動車道)

代 派 会

会派代表質問は3月25日に行われ、新政会、質問・提言などを行った。

市政と市民の

コンセンサスの

求め方について

【青藍会代表】

加久田

保議員

お越して下さい

質問 ① 合併特例債事業など財政面、利用効率面などから見直しては。② 職員定数の適正化にどう取り組まれるか。③ 小・中学校通学区域の見直しに対する住民の意見を聞く説明が遅い、情報不足、教育面からみた将来展望、安全な通学路の確保など問題が多い、どう対応されるか。④ 行政改革の推進と職員提案の具現化。⑤ 人口6万人の実現にどう取り組まれるか。⑥ 保育園の統合、幼保の一元化について。⑦ 中心市街地活性化計画の実現について。⑧ 補助金交付要綱を定め、適正化について。

答弁 ① 平成20年度までの計画をそのまま実施するのではなく、ご指摘の通り見直しは可能である。今後の合併特例債事業及びハード事業につきましては、平成14年度に第二次財政計画のローリングを実施する中で実施時期・事業の進捗調整を行うなど内容について見直しを実施したい。② 合併によって肥大化した組織の簡素合理化と総職員数の抑制は、合併の命題であることから、前期目標である平成16年に51人を減員し、最終目標である平成21年には101人を減員することで計画を樹立している。③ まず何よりも教育基

本構想をできるだけ早急にまとめ、それを叩き台として、多くの市民の皆様方からご意見を賜りながら必要な修正を加えていくことが、重要ではないかと判断した。特に教育基本構想の推進につきましては、ことの重要性に鑑み、新年度より地域に入り、説明会を重ね、あらゆる角度から検討を進め、多くの市民の皆様のご理解がいただけるよう努力をする。④ 従来の年功序列型人事を廃止し、係長以上の職員を対象に「昇任試験制度」を平成16年度までに導入し、行政の体質改善を進める。各課に行政改革推進員を配置するべく体制整備を行う。職員提案制度について平成12年8月スタートさせて以降、10月末までに143件の提案があった。主なものとして次の3件の提案を既に導入している。

①職員による庁舎周辺の美化作業。②全庁舎分の煙化 ③市職員の身分を明らかにする顔写真入りの名札の着用。これら以外にも庁舎の節電対策、ダイヤルインシステムの導入、再生紙の利用など事務事業の効率化や環境対策など、改革できるものから実現化している。⑤ 平成15年度中に「国土利用計画法による篠山市計画」として位置づけの予定で、地域ごとの土地利用方策を具体的に掲げる。住宅マスタープラン、都市計画マスタープラン等との関連性をもつことになり、人口増加につながる諸施策を展開できると考える。⑥ 幼稚園教育振興計画策定委員会の中で2年保育の実施について検討いたしております。当面は幼稚園に現有する保育施設の活用などを中心に2年保育実施園を拠点園方式で配置する方法で実現にむけ取り組んでいる。⑦ TMO（特定会社）の正式発足に向けて市がTMOの認証を行い、14年度末にはTMO計画が

作成される予定です。いずれに致しましても、事業者の皆さんが自らの問題として積極的に取り組んでいただきたい。⑧ 補助金、負担金併せて717億3,600万円余りを支出している。補助金交付のあり方として、各団体の会員数や活動状況なり、補助金の使途、加えてなお引き続き育成する必要があるかどうかなどを含め、充分精査検討すると共に、補助金交付基準の作成についても検討したいと考える。



TMOによるまちづくりに期待

会派代表質問

一、公共施設の管理運営に 財団法人の設立を 二、人口6万人の実現に 向けた具体策を問う

【共生クラブ代表】
植野良 治議員

質問 ① 文化施設、体育施設、公園、駐車場、図書館等の管理運営を財団法人を設立し、委託することを提言する。

財団法人設立に向けたプロジェクトチームを作り、研究、検討を。

② 現在、大きな財源を投入して、事業推進している下水道事業。2004年には完成する県水導入事業。そして落ちこんで行く税収入。これらを考えると、これまでの都市基盤の整備はもろろんのこと、さらに踏み込んだ人口増加施策が必要と思う。

総合計画の地域別整備方針で区分している、市街地地域を中心に思い切った農振地除外をはかり、民間活力の導入を促進す

べきと考える。

「全国に誇れる元気なまちづくり」のために、地元企業や事業者の事業拡大、新規事業の取り組みに支援策を検討し、具体的な施策にされたい。

★ 答弁

① これらの施設の管理運営につきまして、「本来行政がその責任を果たすべきもの」、「民間の方が効率的でサービスが期待できるもの」、「中間的な第三セクター、財団法人等の運営により効果が図れるもの」など、施設に応じた管理運営方法を研究し、委託する場合には、非営利組織であるNPO、ボランティア団体、民間、さらには市が関与する法人等を視野に入れて施設に応じた管

理委託方法を検討する必要があると考えます。

② 平成14年度から具体的に調査検討を行う部署を定め、費用負担の軽減化の検討を進め、必要であれば平成15年度を目標に市が関与する法人等の設立を行って参りたいと考えます。

平成13年に策定した篠山市総合計画において、平成22年の人口を6万人と想定しています。この数字については、合併時の新市建設計画に基づくものではありますが、現在の社会情勢や、人口動態、JR福知山線の篠山口駅までの複線電化、高速自動車道をはじめ国・県道等の改良、県水導入等の大型プロジェクトの実施による効果、さらに合併によるイメージアップ効果など、様々な角度から検討を加え導き出したものです。

このような状況から、まず「土地利用調整基本計画」を策定し、この計画を基本として、平成15年度中に「国土利用計画法による篠山市計画」を策定する予定であり、地

域ごとの土地利用方策を具体的に掲げることにより、人口増加につながる諸施策を展開できると考えております。

あわせて、この土地利用計画により、都市計画や農振振興地域に関する法律による規制と有効に機能することとなり、農振地の除外等も視野に入れた計画となりますので、関係機関と協議しながら、積極的な民間活力の導入が得られるような計画としたいと考えています。

農業振興地域の見直しは、5年ごとに事業認定を受け、篠山市全域にわたっての見直し作業をすることになっておりまして、平成12年度にその作業を終えたところであり、平成12年度にその作業を終えたところであり、農業を取り巻く情勢は大変厳しいものがあります。農業が、篠山市の基幹産業であり、「緑豊かな田園文化都市づくり」の根幹をなすものとして位置づけられておりまして、見直しの基本施設としまして、ほ場整備事業が完了した農地は「優良農地」として保全することとしております。

新規事業への支援策等については、従来から、企業個々に対しての助成制度は、原則として考えられないということを一貫して申し上げており、担当課で検討を始めていくところですので。

市単独で実施可能な手法として、工場等における雇用の確保、また、新しい企業進出にかかる固定資産税の軽減や、起業家に対する補助制度について、条例化も含め検討中であり、原案が固まり次第議会にお諮りしたいと考えておりますので、いましばらく猶予をいただきたいと思っております。



市内の公共施設（たんば田園交響ホール）

どうする、どう考える!?

一般質問は、3月25日、5名の議員が登壇。市政全般にわたって質問、提言などを行った。

一、子ども読書活動の推進 二、循環型社会の取り組み

谷 貴美子 議員

質問

- ①子ども読書活動の推進に関する法律を受けてどのように推進されるのか。
- ②読み聞かせグループが学校の昼休みに読み聞かせを行っては。
- ③乳幼児検診時に絵本の贈呈を行っては。これをブックスタートという。

質問

- ①現在の分別収集の細分化について
- ②集収日が月曜日当たっている地域は、国の施策のハッピーマンデーで回収がされないサービス低下の改善。
- ③リサイクルプラザを活用するため大型ゴミの年2回の回収の実施を。

答弁

①各学校における読書活動については、「朝の読書活動」として毎日十分間実施している学校や、週に一回読書の時間を設ける等各校の教育課程の中で、創意工夫をしながら本と触れ合う機会を積極的に設けております。②今後は学校で行われている朝の読書の時間などでも広がるよう、積極的に支援します。③教育委員会では検診時等を利用して子育て講座を行っております。こうした機会をとらえ、今後検

答弁

①現在分別収集を行っているガラス製容器とペットボトル以外に、新たにプラスチック製容器包装を分別に加えるべく検討しているところです。②ハッピーマンデーによって振替による収集を実施することが、現状の体制では困難となっております。③収集全般について見直しを図ります。

一、地産地消の農業について 二、堆肥センターについて 三、学校給食について 四、ゴミの分別と減量について 五、IT講習について

藤本忠男 議員

質問

- ①白大豆の生産推進と地元業者の協力体制は、国の補助制度も含めて採算が成り立っている。国の転作補助が無くならない。市単独でも補助制度を続けるのか。ブランド化と他の野菜の地元消費体制はどうなのか。消費体制はどうか。農産物には堆肥センターが必要
- ②農業公園と併設し発酵熱利用は出来ないか。
- ③全日米飯給食は生徒の味覚と健康教育に大切であり、日本食の見直しと地元食材への使用について。
- ④清掃センターの完成を機にゴミと環境問題について市民会議を設置して市民への啓発と協力を

答弁

①栽培農家の責任感と技術の向上を期待する。取り組みへの助成は、平成13年度に汎用コンバインを国庫補助事業により導入し、市は補助金の一部助成を行っている。学校給食に使用している野菜類を組織として栽培している。農家の皆様の積極的な取り組みと消費者の理解を期待する。現在の畜産農家の堆

答弁

②制を再整備してはどうか。13年度の講習を終えて、パソコンに興味を持たれた方も多かったが、13年度の効果と14年度も続けるべきと思うが。

答弁

③全国的に米飯給食を推進されている傾向の中で、篠山市においても条件整備を勘案しながら全日米飯給食実施に向けて取り組みなければならぬ。④清掃センターにおいて啓発ビデオの作成中であり今後、広く活用する。⑤市民ボランティアにもご支援をいただくとともに、幾分か負担もお願いしつつ講習会を実施して参りたい。



丹南給食センター



読み聞かせグループの活動

完全学校週五日制について

澤 光 吉 議員

質問 〃完全学校週五日制が本年度4月よりスタートとなり、子供達が家庭や地域で過ごす休業日数が、165日前後に増え、年間の約45%程度になることで、特に心配される「学力の低下」や「生活面」において、学校又は先生の意識改革、保護者や地域住民の協力や、チ

答弁 「完全学校週五日制」の導入に伴い、〃学力低下〃の懸念が広がっているが、今回の改訂は、学習内容を厳選し、基礎、基本の確実な定着を図ること、また、体験的、課題解決的な学習を取り入れる中で、達成感や成就感を味あわせ、さらなる学習意欲を高めていくことをねらいとしている。

平成12年度から管理職研修会や、教職員向けの新教育課程研修会を実施し、社会教育においては、青少年健全育成推進協議会をはじめ、関係団体やコミセン活動等で、青少年の環境浄化活動、青少年指導啓発、子どもを守る家等の青少年健全育成活動に熱心に取り組んでいただいている。

又、公民館活動等についても必要な支援を行っていききたい。

今後は、積極的に子供達の地域活動の場の充実を図り、学校、家庭、地域が一体となって、夢を持ったたくましい子供達を育てる施策の充実に努めていきたい。



ちるみゅーで楽しむ子どもたち

法後の同和行政の確立と 人権の21世紀の実現を

赤 松 賢 宥 議員

質問 部落差別の現状を踏まえ、21世紀の早い時期に部落問題を解決し、差別なき人権が尊重された地域社会を創造することが求められている。本市に於ける今後の同和行政の基本姿勢について以下3点お伺いしたい。

1 一昨年公布・施行された「人権教育・啓発推進法」に対する市長のご見解を。

2 96年の「地対協意見具申」に対する基本的見解を。

3 本年3月末には「地対財特法」が失効するが、「同対審答申」を踏まえた今後の同和行政・人権行政に関する見解をお伺いする。

答弁 **1** この法律は、真に人権が尊重され、心豊かな地域社会を構築するために意義深いものだと認識しています。市としては、国の動向を見極めつつ、「人権教育のための国連10年」篠山市行動計画が、幅広い人権問題に関わる組織団体から選出された推進懇話会の意見を尊重し策定したものであることから、これをもって「篠山市の基本計画」として位置付けたいと考えております。

2 意見具申は、特別対策としての同和对策事業を一般対策へ円滑に移行させる基本的な方向性を示したものであり、同和行政そのものまでを終了させるものでないと認識しております。

3 あらゆる人権に関わる課題の解決に向けて「人権教育のための国連10年」篠山市行動計画を昨年12月に策定し、これを指針として人権教育を推進し、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくり積極的に取り組んでまいります。



人権のふるさと水平社博物館

当面の財政課題 大型建設事業の見直しが必要!!

森本 長 寿 議員

質問 ① 経常収支比率は、財政の弾力性・健全性を評価する指標であるが、本年度88・5%まで悪化する。悪化要因と今後の対応はどうか。

② 借金残高は1075億円強となる。一方、国は小規模自治体に対する交付税の増しを削減(本市で約2億円)する。

③ 国は起債についても、交付税への手当を半減する。一般建設事業(127億円)の実施時期・規模等、この際見直すべきではないか。

答弁 ① 経常収支比率を下げる要因として経常経費の削減が重要であります。職員定数の適正化による人件費の削減、公債費の繰上償還と発行額の抑制による公債費の減額、また施設の維持管理についても経費に見合う使用料等特定財源の確保、民間等への施設の維持管理委託等の推進が一般財源の削減に効果があると考えます。

② 一般会計で合併特例債を活用した事業の取り組み、下水道事業について

では、平成17年度完成に向けての取り組みにより地方債残高が累増しておりますが、平成15年度以降地方債の発行を大幅に押さえることからそのピークは平成15・16年度であり、以降残高は減少していくものと予測している。

③ 平成13年度より予算配当制度を取り入れ歳出の抑制と厳正な予算執行に努め、予算配当について非配当費目を定め10%の非配当を実施するなど経費削減に努力している。

陳情・要望をうけました

◆篠山中学校移転に関する要望

篠山中学校移転検討委員会
委員長 奥山 富雄
篠山中学校移転検討部会
部会長 畑 光明

◆市道の拡幅・整備要望

音羽グリーンタウン
自治会長 安留 絃一
社会福祉法人守幸会
理事長 平野 守

◆篠山小学校建設についての要望

篠山小学校校区総代会会長
小林 一三
篠山小学校教育正会会長
小山 秀樹
篠山幼稚園ささゆり会会長
榎田 佳男

◆下排水の処理事業について

住山自治会長 松本 一等

◆市道・路線変更の認定について

今田自治会長 森口 保

◆西紀北小学校、西紀きた幼稚園存続の要望

西紀北小学校・西紀きた幼稚園
育友会長 細見 元子

H13年12月25日から
H14年3月19日まで受付分

インターネットでも
市議会だよりが
ご覧になれます。



ホームページは
<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>
です。



西紀運動公園(仮称)に温水プールの計画

議会のうごき

平成14年2月～5月

2月18日(月) 会派 公明党政務調査(兵庫県洲本市)
 21日(木) 総務文教・民生福祉常任委員会(連合委員会)
 22日(金) 議員全員協議会
 26日(火) 議会運営委員会

3月1日(金) 議員全員協議会
 6日(水) 第24回篠山市議会定例会(第1日)
 7日(木) 第24回篠山市議会定例会(第2日)
 8日(金) 第24回篠山市議会定例会(第3日)
 11日(月) 総務文教常任委員会(予算審査)
 民生福祉常任委員会(予算審査)
 産業建設常任委員会(予算審査)
 総務文教常任委員会(予算審査)

12日(火) 総務文教常任委員会(予算審査)
 産業建設常任委員会(予算審査)
 総務文教常任委員会(予算審査)
 14日(木) 産業建設常任委員会(予算審査)
 15日(金) 総務文教常任委員会(予算審査)
 民生福祉常任委員会(予算審査)

18日(月) 総務文教常任委員会(予算審査)
 民生福祉常任委員会(予算審査)
 第24回篠山市議会定例会(第4日)
 第24回篠山市議会定例会(第5日)

4月2日(火) 議会運営委員会
 議会広報編集特別委員会
 12日(金) 議会運営委員会・議会広報編集特別委員会
 15日(月) 近畿市議会議長会定期総会(箕面市)
 16日(火) 阪神市議会議長会・局長会(篠山市)
 18日(木) 第208回兵庫県市議会議長会事務局長会(赤穂市)
 19日(金) 議員全員協議会・議会広報編集特別委員会
 22日(月) 議会運営委員会
 24日(水) 総務文教常任委員会
 議員全員協議会
 第208回兵庫県市議会議長会事務局総会(赤穂市)

5月1日(水) 第25回篠山市議会臨時会
 議会広報編集特別委員会
 10日(金) 議会広報編集特別委員会
 14日(火) 文教厚生常任委員会
 16日(木) 会派青藍会政務調査(視察 天童市・角田市)
 20日(月) 議会運営委員会
 21日(火) 産業建設常任委員会

ま

ち

な

み

▼第24回市議会定例会は、3月6日から27日まで22日間であった。14年度市長の市政方針、教育長の教育方針、予算審議などが主なものである。見出しのとおり、一般会計304億8,200万円、12特別会計、2企業会計を合わせた総額561億8,3006万7千円を可決、成立した。総額で前年比9.3%減となっている。



るところに充滿しているだけに議員に課せられた課題は多い。

▼春の訪れと共に、阪神タイガースが絶好調である。星野阪神が誕生したのは、昨年の12月17日「おまえは野球人なんだ」というのが監督を引受ける決定的理由であった。安芸キャンプに熱い思いを馳せ、オーストラリアに臨んでいる。人口はもちろん、沈滞気味の関西経済の活性化のために一石を投じ、相乗効果は果てしない。「あしなが育英会」のステツカーも新鮮に映る。そんな地域活性化を広い篠山市に描けるだろうか。

▼さて議会は、前半の2年間は、5月1日臨時会が議長を選任、議会構成をした。広報編集特別委員会も次号より委員が入れ替わります。尚一層のご支援とご鞭撻をお願い致します。

- 委員長 市野 忠志
- 副委員長 足立 義則
- 委員 酒井 朝洋
- 澤 光吉
- 波多野 元治
- 河南 克典

編集・発行

篠山市議会 広報編集特別委員会

〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41 ☎(0795)52-1111

印刷/株プリテック